

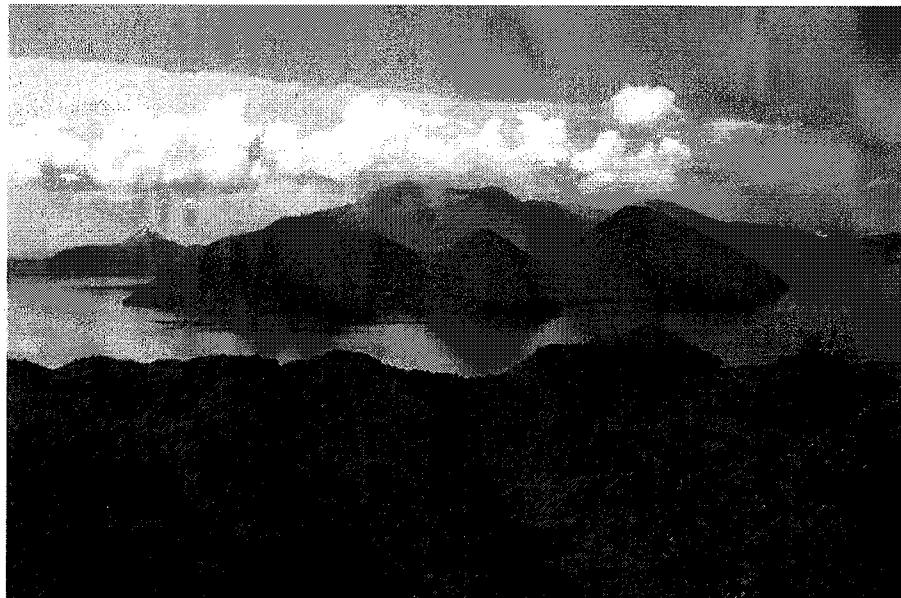


北海道

資料 1

# 北海道医療計画 西胆振地域推進方針 (平成30年度～平成35年度)

(案)



平成30年 月

北海道胆振総合振興局保健環境部  
(北海道室蘭保健所)

( 白 紙 )

( の り と )

( 白 紙 )

# 目 次

## 第1章 基本的事項

### 第1節 作成の趣旨

… 1

### 第2節 地域推進方針の名称

### 第3節 地域推進方針の期間

## 第2章 西胆振地域の概況

### 第1節 地勢

… 1

- 1 地域的状況や特殊性
- 2 交通機関の状況
- 3 生活圏

### 第2節 人口の推移

- 1 人口構造
- 2 人口動態

### 第3節 住民の健康状況

### 第4節 患者の受療動向等

- 1 患者の受療動向
- 2 患者数
- 3 病床利用率
- 4 病床種類別の平均在院日数

### 第5節 医療施設

- 1 病院
- 2 診療所
- 3 助産所
- 4 薬局

### 第6節 医療従事者の年次推移

- 1 医師、歯科医師、薬剤師の状況
- 2 看護師、准看護師の状況
- 3 保健師、助産師の状況
- 4 歯科衛生士の状況
- 5 その他病院従事者の状況

## 第3章 5疾病・5事業及び在宅医療のそれぞれに係る医療連携体制の構築と推進

### 第1節 がんの医療連携体制

… 1

- 1 現状
- 2 課題
- 3 必要な医療機能
- 4 数値目標等
- 5 数値目標等を達成するために必要な施策
- 6 医療機関等の具体的な名称
- 7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割
- 8 薬局の役割
- 9 訪問看護ステーションの役割

## 第2節 脳卒中の医療連携体制

- 1 現状
- 2 課題
- 3 必要な医療機能
- 4 数値目標等
- 5 数値目標等を達成するために必要な施策
- 6 医療機関等の具体的名称
- 7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割
- 8 薬局の役割
- 9 訪問看護ステーションの役割

## 第3節 心筋梗塞等の心血管疾患の医療連携体制

- 1 現状
- 2 課題
- 3 必要な医療機能
- 4 数値目標等
- 5 数値目標等を達成するために必要な施策
- 6 医療機関等の具体的名称
- 7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割
- 8 薬局の役割
- 9 訪問看護ステーションの役割

## 第4節 糖尿病の医療連携体制

- 1 現状
- 2 課題
- 3 必要な医療機能
- 4 数値目標等
- 5 数値目標等を達成するために必要な施策
- 6 医療機関等の具体的名称
- 7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割
- 8 薬局の役割
- 9 訪問看護ステーションの役割

## 第5節 精神疾患の医療連携体制

- 1 現状
- 2 課題
- 3 数値目標等
- 4 数値目標等を達成するために必要な施策
- 5 医療機関等の具体的名称
- 6 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割
- 7 薬局の役割
- 8 訪問看護ステーションの役割

## 第6節 救急医療体制

- 1 現状
- 2 課題
- 3 必要な医療機能
- 4 数値目標等
- 5 数値目標等を達成するために必要な施策
- 6 医療機関等の具体的名称
- 7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割
- 8 薬局の役割
- 9 訪問看護ステーションの役割

- 第7節 災害医療体制
- 1 現状
  - 2 課題
  - 3 必要な医療機能
  - 4 数値目標等
  - 5 数値目標等を達成するために必要な施策
  - 6 医療機関等の具体的名称
  - 7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割
  - 8 薬局の役割
  - 9 訪問看護ステーションの役割

- 第8節 べき地医療体制
- 1 現状
  - 2 課題
  - 3 必要な医療機能
  - 4 数値目標等
  - 5 数値目標等を達成するために必要な施策
  - 6 医療機関等の具体的名称
  - 7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割
  - 8 薬局の役割
  - 9 訪問看護ステーションの役割

- 第9節 周産期医療体制
- 1 現状
  - 2 課題
  - 3 必要な医療機能
  - 4 数値目標等
  - 5 数値目標等を達成するために必要な施策
  - 6 医療機関等の具体的名称
  - 7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割
  - 8 薬局の役割
  - 9 訪問看護ステーションの役割

- 第10節 小児医療体制（小児救急医療を含む）
- 1 現状
  - 2 課題
  - 3 必要な医療機能
  - 4 数値目標等
  - 5 数値目標等を達成するために必要な施策
  - 6 医療機関等の具体的名称
  - 7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割
  - 8 薬局の役割
  - 9 訪問看護ステーションの役割

- 第11節 在宅医療（終末期医療を含む）の提供体制
- 1 現状
  - 2 課題
  - 3 必要な医療機能
  - 4 数値目標等
  - 5 数値目標等を達成するために必要な施策
  - 6 医療機関等の具体的名称
  - 7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割
  - 8 薬局の役割
  - 9 訪問看護ステーションの役割

## 第4章 地域保健医療対策の推進

### 第1節 難病対策

- 1 現状
- 2 課題
- 3 施策の方向性

… 1

### 第2節 歯科保健医療対策

- 1 地域歯科保健医療
- 2 障がい者及び要介護高齢者等の歯科保健医療
- 3 へき地における歯科医保健医療
- 4 高次歯科医療及び休日救急歯科医療
- 5 医科歯科連携の推進
- 6 数値目標等

… 1

## 第5章 地域推進方針の進行管理

## 第1章 基本的事項

### 第1節 作成の趣旨

- 平成20年3月に策定した北海道医療計画（以下、「道計画」という。）においては、計画の中核をなす疾病・事業それぞれの医療連携体制の構築とその推進について、地域単位で保健所が市町村、医療機関、関係団体、道民等と共に取組む必要があることから、道計画の策定に合わせ、第二次医療圏の中心となる保健所において、地域の実情に応じた医療連携体制を構築し、円滑に推進するための方針として、圏域ごとに「地域推進方針」を作成し、また、道計画を25年3月に一部改訂したことにより、地域推進方針についても、25年度に見直しを行っています。
- 現行の地域推進方針の期間は、道計画と同様に、期間を概ね5年間としていることから、平成30年度を始期とする新たな道計画の策定と合わせ、第二次医療圏ごとに設置している保健医療福祉圏域連携推進会議において、現行の地域推進方針目標の達成状況や施策の推進状況の評価などを行い、5疾病・5事業及び在宅医療それに係る医療連携体制を構築し、円滑な推進を図るために、西胆振圏域における地域推進方針を作成することとしました。

### 第2節 地域推進方針の名称

- 第二次医療圏の名称を冠し、「北海道医療計画西胆振地域推進方針」とします。

### 第3節 地域推進方針の期間

- 北海道医療計画にあわせ、平成35年までの6年間とします。  
(平成30年度～平成35年度までの6年間)
- ただし、道計画は、在宅医療その他必要な事項については、3年ごとに調査、分析及び評価などを行い、必要がある場合は計画を変更するものとしていますので、地域推進方針についても同様の取り扱いとします。

## 第2章 西胆振地域の概況

### 第1節 地勢

#### 1 地域的状況や特殊性

- 西胆振は、北海道の中央南部に位置し、室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、洞爺湖町、壯瞥町の6市町で構成され、面積は1,356k m<sup>2</sup>と21の第二次医療圏の中では、北空知圏域に次いで小さく、北海道の総面積78,420k m<sup>2</sup>（北方領土を除く）の1.7%です。
- 地形は、変化に富んだ海岸沿いの平坦地から内陸部へ向かって丘陵地、山岳と続き、ほぼ中央部に洞爺湖や有珠山があり、東にはホロホロ山、オロフレ山、鷲別岳が南北に並んでいます。
- 支笏洞爺国立公園に指定されている優れた景勝地があります。洞爺湖周辺では、有珠山、昭和新山などが国際的にも重要な火山現象と火山地形を呈しています。登別温泉周辺は、登別地獄谷、大湯沼、俱多楽湖などから構成され、温泉郷独特のたたずまいを見せてています。
- 気候は、全般的に臨海性で一部には海霧の発生する地域や冷涼な地域を含みますが、積雪寒冷の厳しい北海道にあっては、山間部の一部を除き温暖で積雪量が少ないなど暮らしやすい地域となっています。

#### 2 交通機関の状況

##### (道 路)

- 北海道縦貫自動車道、国道36号、37号、230号、276号、453号のほか、主要道などを基幹道路として、これに連絡する市町道で構成されています。
- 広域行政圏における中心の室蘭市のほか、準中心市町の伊達市及び洞爺湖町を起終点とするバス路線は、地域住民の生活交通手段として重要な役割を果たしています。  
また、札幌や新千歳空港と室蘭間は都市間バスが運行されています。

##### (鉄 道)

- 沿岸を走るJR室蘭本線は、広域的な大量輸送機関として圏域住民の通勤通学はもとより、産業用物資と観光客の輸送等、大きな役割を担っており、東室蘭・札幌間は約1時間30分、東室蘭・函館間は約2時間で結ばれています。

##### (港 湾)

- 特定重要港湾である室蘭港は、静穏で広い水域を有し、札幌圏や支笏洞爺国立公園など、背後圏への幹線道路網等が整備されている特性を活かし、北海道の流通拠点・工業拠点として発展するとともに、水深14メートル岸壁、フェリー埠頭、旅客船バースや浮体式防災施設（広域防災フロート）の整備など機能強化を進めています。定期旅客航路の室蘭・青森間のフェリーが、平成20年11月に廃止となりましたが、平成30年6月に、室蘭・宮古間のフェリーが就航しました。

#### 3 生活圏

- 圏域の6市町では、以前より通勤・通学・医療・商業などのつながりがあり、西いぶり広域連合を設立し、ごみの共同処理や、住民記録や税などの共同電算など行政事務を行ってきています。
- 近年の人口減少や住民生活に必要な機能を確保するために、圏域の将来ビジョンを作成し、その実現の一つの手法として、6市町が連携し定住自立圏構想を推進することとしています。室蘭市は、定住自立圏構想の「中心市宣言」を行っています。

## 第2節 人口の推移

### 1 人口構造

#### (人口)

- 平成27年国勢調査では、人口は189,696人で北海道の総人口の3.5%を占め、人密度は139.8人/km<sup>2</sup>と札幌、南渡島圏域に次いで高くなっています。
- 人口は、基幹産業の鉄鋼、造船企業の相次ぐ合理化等に伴い、昭和50年の国勢調査で初めて減少し、平成27年国勢調査では前回（平成22年）調査と比較して10,535人減少しました。
- 総人口に占める65歳以上の人口の割合は、昭和60年国勢調査では10.7%でしたが、平成17年は26.2%、平成22年は29.8%、平成27年では34.4%と高齢化が進行しています。
- 国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口（平成30年3月推計）では、今後も出生数の低下などの要因で減少傾向にあり、平成37年（2025年）には約2万5千人、平成52年（2040年）には約7万5千人の減少が見込まれています。

#### (年齢3区分別構成割合)

- 年齢3区分別構成割合では、年少人口割合（15歳未満）、生産年齢人口割合（15歳から64歳）が減少しており、平成7年国勢調査で老人人口割合（65歳以上）が年少人口割合を上回りました。
- 老年人口割合は年々増加しており、平成27年で34.6%と、全道の老人人口の割合29.0%よりも上回っています。

#### (世帯数)

- 平成27年国勢調査では、一般世帯数は8万7,732世帯となっており、構成割合では、単独世帯が37.8%（3万3,039世帯）、夫婦のみの世帯が26.1%（2万3,358世帯）などとなっており、単独世帯が増加しています。
- 一世帯当たりの人員は平均2.16人となっており、21の第二次医療圏の中では1番少ない世帯人員数となっています。
- なお、高齢者（65歳以上）のいる世帯については、年々増加しており、その一方、三世代世帯は減少しています。

### 2 人口動態

#### (出生数)

- 平成27年における出生数は1,181人で、昭和55年の3分の1程度の出生数となっており、出生数の減少は大変顕著なものになっています。
- 合計特殊出生率\*1で見ると、平成27年人口動態統計の全道の1.31人に対し、西胆振は1.49人と高い状況となっています。

#### (死亡数)

- 死亡数は年々増加傾向にあり、平成27年では2,608人となっています。死因順位は、第1位がん30.2%（男性34.8%、女性25.2%）、第2位心疾患18.2%（男性16.7%、女性19.7%）第3位脳血管疾患8.8%（男性8.1%、女性9.6%）となっています。
- 周産期死亡数、乳児死亡数は減少傾向にあり、平成27年では周産期死亡数2人、乳児死亡数2人となっています。

### 第3節 住民の健康状況

- 北海道健康増進計画指標調査事業報告書該当比によると、肥満者（BMI25以上）の割合を全国と比較すると、成人男性では114.3、成人女性では120.8となっています。＊2
- 喫煙者の状況については、喫煙者の割合を全国と比較すると、成人男性では16.2、成人女性では179.8となっています。＊2
- 降圧剤服用者の割合については、成人男性では101.3、成人女性では104.9となっています。＊2
- メタボリックシンドロームを判定するための基準の一つである腹囲異常の状況については、腹囲異常者（腹囲：男性85cm以上、女性90cm以上）の割合を全国と比較すると、成人男性では100.9、成人女性では106.4となっています。＊2
- HbA1c異常の状況については、HbA1c異常者（HbA1c5.6%以上）の割合を全国と比較すると、成人男性では94.9、成人女性では90.3となっています。＊2、＊3

### 第4節 患者の受療動向等

#### 1 患者の受療動向

- 平成26年4月から平成27年3月診療分のレセプト（国保、退職者国保及び後期高齢）による受療動向から、市町村に居住する患者が、どの区域の医療機関を受診しているのか（流出率）、第二次医療圏内でまかなえる医療の割合はどのくらいなのか（自給率）をみると、当地域内での自給率は、入院96.0%（全道91.2%）で、外来が97.9%（全道96.3%）で、高い自給率となっています。
- 市町別で、各市町内の自給率をみた場合、室蘭市や伊達市に患者が集まることが分かります。

\* 受療動向についてはP6. 7を参照。

#### 2 患者数

##### (1) 1日平均外来患者数

平成28年の「病院報告」（厚生労働省）によると、人口10万対1日平均外来患者数は1,493.7人（全道：1,438.3人、全国：1,068.1人）で、このうち、「一般病院」は1,366.0人（全道：1,366.0人、全国：1,023.0人）、「精神科病院」は127.7人（全道：71.9人、全国：45.6人）となっており、全道及び全国平均値を上回っています。

##### (2) 1日平均在院患者数

平成28年の「病院報告」（厚生労働省）において、人口10万対1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「一般病床」は753.8人（全道：725.7人、全国：528.2人）、「療養病床」は734.9人（全道：359.4人、全国：228.3人）、「精神病床」は746.9人（全道：326.5人、全国：227.4人）で、全ての病床で全道及び全国値を大きく上回っています。

\*1 合計特殊出生率：一人の女性が生涯に生む子どもの数に近似する指標

\*2 平成29年度北海道健康増進計画指標調査事業（北海道見える化事業）報告書（北海道保健福祉部健康安全局地域保健課  
北海道保険者協議会・学校法人淳心学園 北海道千歳リハビリテーション大学）

\*3 HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）：過去1～3か月の血糖値のコントロール指標

### (3) 病床利用率

平成28年の「病院報告」(厚生労働省)によると、病院の病床利用率は79.7%（全道79.1%、全国：80.1%）であり、病床の種類別にみると、「一般病床」は71.3%（全道：73.7%、全国：75.2%）、「療養病床」は80.2%（全道：86.1%、全国：88.2%）となっており、全道及び全国とほぼ同じ病床利用率となっています。

### (4) 病床種類別の平均在院日数

平成28年の「病院報告」(厚生労働省)によると、病院の平均在院日数は49.1日（全道：32.1日、全国：28.5日）であり、病床の種類別にみると、「一般病床」は18.5日（全道：17.5日、全国：16.2日）、「療養病床」は192.9日（全道：215.6日、全国：152.2日）となっており、全ての病床で全道及び全国値を上回っています。

## 第5節 医療施設

### 1 病院\*

- 病院数は、平成2年の29か所から減少傾向にあり、平成27年10月1日現在では、21か所となっています。
- 人口10万対病院数は、平成27年で11.1と全道の10.5と同水準になっており、全国平均の6.7を上回っています。
- 病床数は、平成27年では5,297となっており、横ばいとなっています。

【西胆振の病院数の推移】\*

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
病院数	29	27	23	24	21	21	21	21	21	21

【西胆振の開設者別病院数】

開設者	国	市町	日赤	社会事業協会	医療法人	計
病院数	1	2	1	1	16	21

【西胆振の病床数の推移】\*

区分	総数	精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床
平成2年	6,100	1,681	50	57	—	4,312
平成7年	5,950	1,629	50	45	—	4,226
平成12年	5,532	1,693	4	24	513	3,298
平成17年	5,757	1,661	4	24	1,952	2,116
平成22年	5,345	1,621	4	24	1,643	2,062
平成23年	5,358	1,604	4	24	1,664	2,062
平成24年	5,298	1,544	4	24	1,664	2,062
平成25年	5,298	1,544	4	24	1,664	2,062
平成26年	5,298	1,544	4	24	1,708	2,018
平成27年	5,297	1,544	4	24	1,724	2,001

## 2 診療所 \* 1

- 一般診療所数は、平成27年10月1日現在では、116か所（有床9か所、無床107か所）となっており、全道と同様に無床診療所が増加し有床診療所が減少しています。
- 歯科診療所数は、平成27年10月1日現在では、95か所となっており、横ばいとなっています。

【西胆振の一般診療所数の推移】 \* 1

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
有床診療所数	43	34	26	17	13	10	10	10	7	9
無床診療所数	80	86	92	96	96	95	100	99	103	107

【西胆振の歯科診療所数の推移】 \* 1

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
診療所数	92	99	99	97	98	99	99	99	94	95

## 3 助産所 \* 3

- 本道の助産所数は、平成29年4月1日現在では、51か所となっており、増加傾向にあります。
- 西胆振の助産所数は、平成29年4月1日現在では、3か所となっており、横ばいとなっています。

【西胆振の助産所数の推移】 \* 1

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
助産所数	0	0	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3

## 4 薬局 \* 4

薬局数は、平成29年3月31日現在では、90か所となっており、平成17年以降横ばいとなっています。

【西胆振の薬局数の推移】 \* 1

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
薬局数	60	63	79	97	94	94	94	91	92	93	92	90

\* 1 北海道保健統計年報 10月1日現在

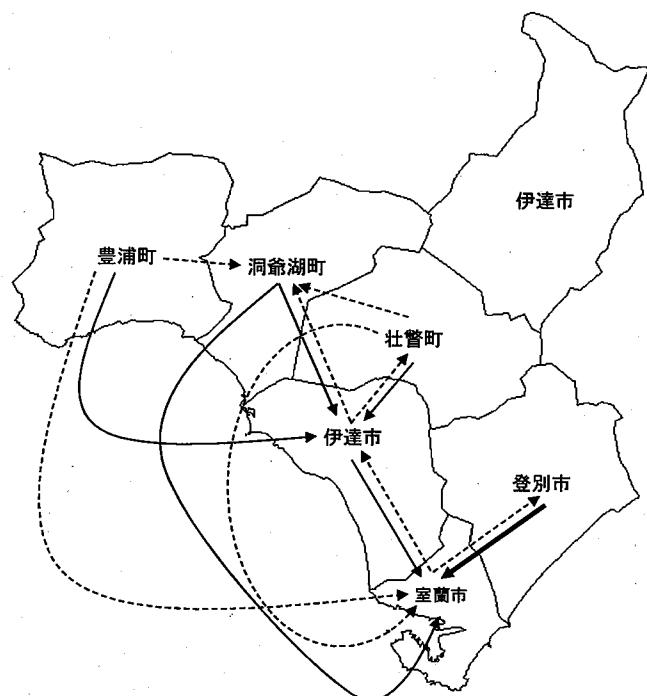
\* 2 北海道室蘭総合振興局保健行政室調

\* 3 日胆地域保健情報 各年10月1日現在

\* 4 北海道保健福祉部医療業務課調

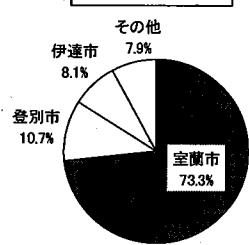
### 西胆振の受療動向【入院】

西胆振 の状況 (入院)	区分	状況
	圏域内自給率(全道)	96.0% (90.0%)
	流出先圏域 の構成比	札幌圏 3.2%
		東胆振圏 0.4%
		後志圏 0.1%
		その他 0.3%

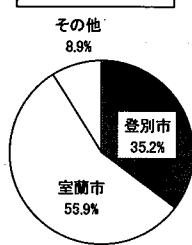


5%以上20%未満 →  
20%以上50%未満 →  
50%以上 →

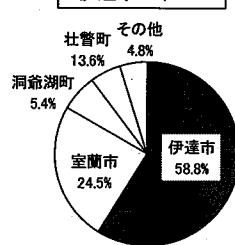
室蘭市 226, 366



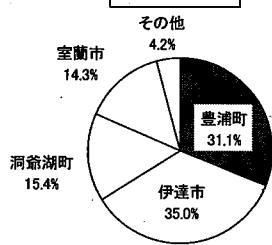
登別市 120,235



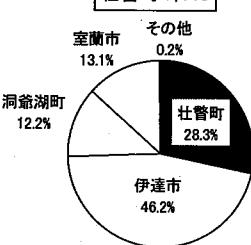
伊達市 91, 269



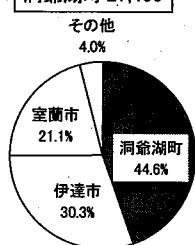
豊浦町 11,033



壯瞥町 7,445



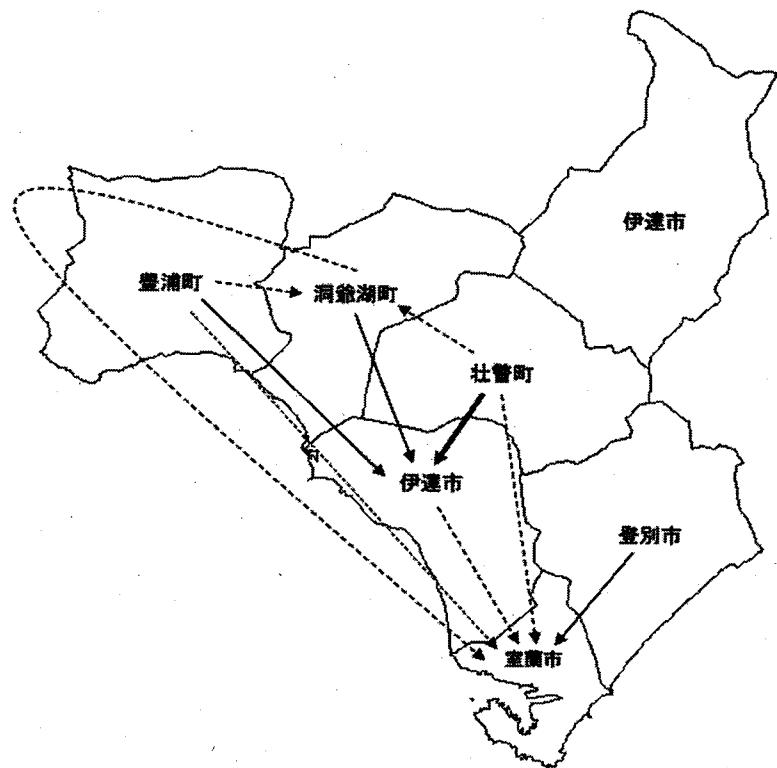
洞爺湖町 27,459



※ 入院患者、外来患者の受療動向:厚生労働省「医療計画作成支援データブック」(平成26年受療動向)

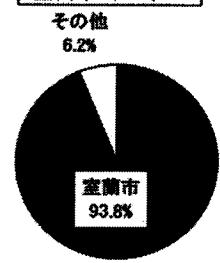
### 西胆振の受療動向【外来】

区分 西胆振 の状況 (外来)	状況	
	圏域内自給率(全道)	97.9% (96.1%)
流出先圏域 の構成比	札幌圏	1.5%
	東胆振圏	0.4%
	後志圏	0.1%
	その他	0.1%

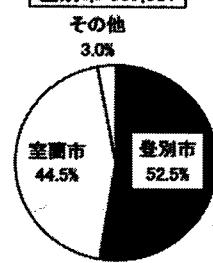


5%以上20%未満  
20%以上50%未満  
50%以上

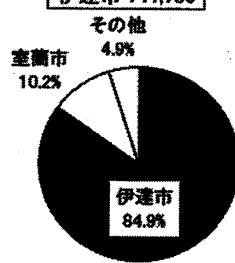
室蘭市 1,712,948



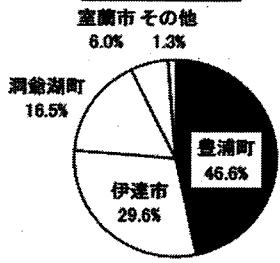
登別市 997,587



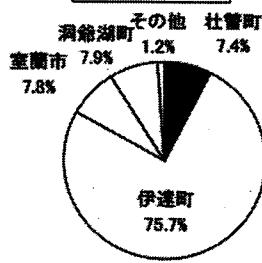
伊達市 741,789



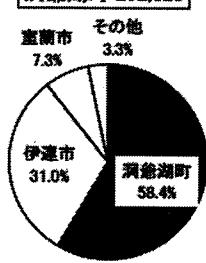
豊浦町 102,632



杜鵑町 59,255



洞爺湖町 232,825



※ 入院患者、外来患者の受療動向:厚生労働省「医療計画作成支援データブック」(平成26年受療動向)

## 第6節 医療従事者の年次推移

### 1 医師、歯科医師、薬剤師の状況 \* 1

医師は、平成16年を頂点に減少傾向にありますが、歯科医師は横ばい、薬剤師は増加傾向にあります。

平成28年では、平成18年と比較して、医師は35人（△8.6%）の減少となっていますが、歯科医師は1人（0.8%）、薬剤師は24人（7.6%）の増加となっています。

【西胆振の医師、歯科医師、薬剤師の状況】 \* 1

区分	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
医 師	474	480	493	460	407	419	420	441	425
歯科医師	115	120	116	119	117	122	125	123	120
薬剤師	278	283	286	316	308	335	324	336	340

### 2 看護師、准看護師の状況 \* 1

看護師は増加傾向にあり、平成28年では、10年前の平成18年と比較して、672人（33.7%）の増加となっていますが、准看護師は274人（△28.2%）の減少となっています。

【西胆振の看護師、准看護師の状況】 \* 1

区分	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
看護師	1,677	1,758	1,951	1,996	2,075	2,232	2,405	2,562	2,668
准看護師	1,032	1,009	1,032	972	901	830	804	776	698

### 3 保健師、助産師の状況 \* 1

保健師、助産師ともに近年は、平成18年頃を頂点に減少傾向にあり、平成28年では、10年前の平成18年と比較して、保健師13人（△9.9%）、助産師2人（△3.9%）の減少となっています。

【西胆振の保健師、助産師の状況】 \* 1

区分	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
保健師	90	93	119	131	114	85	120	118	118
助産師	63	52	48	51	43	42	52	51	49

### 4 歯科衛生士の状況 \* 1

歯科衛生士は増加傾向にあり、平成28年では、10年前の平成18年と比較して、46人（86.8%）の増加となっています。

【歯科衛生士の状況】 \* 1

区分	平成10年	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
歯科衛生士	38	34	40	47	53	68	70	78	89	99

## 5 その他病院従事者の状況\*2

病院従事者の理学療法士、作業療法士は、増加傾向にあり、平成28年は、平成18年と比較して、理学療法士90.7人（93.8%）、作業療法士84.0人（112.1%）増加となっています。

その他の医療従事者については、次表のとおりになっています。

【西胆振のその他病院従事者の状況】\*3

区分	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
理学療法士	42	56.3	84.6	96.7	101.3	118.2	145.2	177.1	187.4
作業療法士	30	39.3	56.3	74.9	86.9	103.7	113.4	142.2	158.9
医療社会事業従事者	29	29.0	45.0	47.9	33.5	28.5	26.0	21.0	24.8
管理栄養士	36	32.0	32.0	37.0	37.8	38.5	45.3	53.3	50.8
栄養士	14	16.0	15.5	11.5	7.3	5.5	6.8	2.8	3.0
診療放射線技師	84	83.0	90.0	92.7	87.8	92.0	96.0	106.1	113.4
臨床検査技師・衛生検査技師	107	102.7	108.4	107.2	104.4	103.3	105.0	111.0	107.4
視能訓練士	4	4.0	5.0	4.0	5.0	6.0	8.0	8.1	8.1
言語聴覚士	9	12.0	18.0	23.0	25.0	32.1	35.0	42.5	44.8
臨床工学技士	24	32.0	37.0	46.0	44.0	46.0	46.0	54.0	56.8
義肢装具士	2	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0	1.0
歯科技工士	1	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

\*1 北海道保健統計年報 隅年末現在

\*2 北海道保健統計年報（病院報告（従事者票）各年10月1日現在

平成17年以降は常勤換算後の人員

\*3 北海道保健統計年報（病院報告（従事者票）各年10月1日現在

平成14年以降は常勤換算後の人員